

令和8年度 第1回国立大学法人奈良国立大学機構役員会議事録

日時 令和8年4月23日(木) 13時30分～14時17分
場所 奈良女子大学第一会議室
出席者 理事長 榊裕之、大学総括理事 宮下俊也、大学総括理事 高田将志、
理事(総務・財務担当) 三谷卓也、理事(教育・研究担当) 近藤科江
列席者 監事 青山卓史、監事 大久保幸治、監事 菅万希子、事務局次長 里見昭彦
(機構事務部)
総務課長 向陽平、企画課長 寺本敏紀、人事課長 川村婦美子、財務課長 樋口幸一
(奈良教育大学事務部)
総務課長 河上貴治、企画調整課長 小柴多純
議長 理事長 榊裕之

議事に先立ち、近藤理事(教育・研究担当)が新任の挨拶があった後、議事録(第14回)を確認した。

議 事

I 審議事項

1. 第4期中期目標・中期計画に基づく令和6年度末時点の自己点検・評価結果の公表について
三谷理事から、審議資料1により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
宮下大学総括理事から、令和7年度学部卒業者の教員就職率が例年に比して高水準となった旨、報告があった。
2. 法人評価(4年目終了時)に係る「研究業績説明書」の提出について
三谷理事から、審議資料2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
3. その他
特になし

II 報告事項

1. 教職員の人事異動について
三谷理事から、報告資料1により報告があった。
2. 令和7年度監事監査報告について
青山監事から、報告資料2により報告があった。
高田大学総括理事から、非密封放射性同位体や入試業務への所見について詳細な説明を求める質問があり、青山監事から、非密封放射性同位体については、ここ数年利用実績がないことから、管理リスクや廃止後の再立ち上げに要する費用も踏まえ、改めて検討が必要であるとの指摘があった。また、入試業務については、特に学部において複数の入試が実施されており、作問作業の負担や管理面での課題があるため、見直しを検討するよう依頼があった。
3. 令和8年度監事監査計画について
監事から、報告資料3により報告があった。
4. 令和7年度内部監査報告について
監査課長から、報告資料4により報告があった。
5. 令和8年度内部監査計画について
監査課長から、報告資料5により報告があった。

6. 令和8年度 施設整備費補助事業（長寿命化促進事業）の内示について
三谷理事から、報告資料6により報告があった。

7. その他
特になし

次回役員会は、令和8年5月28日（木）13：30から開催することを確認し散会